

【今週の注目疾患】

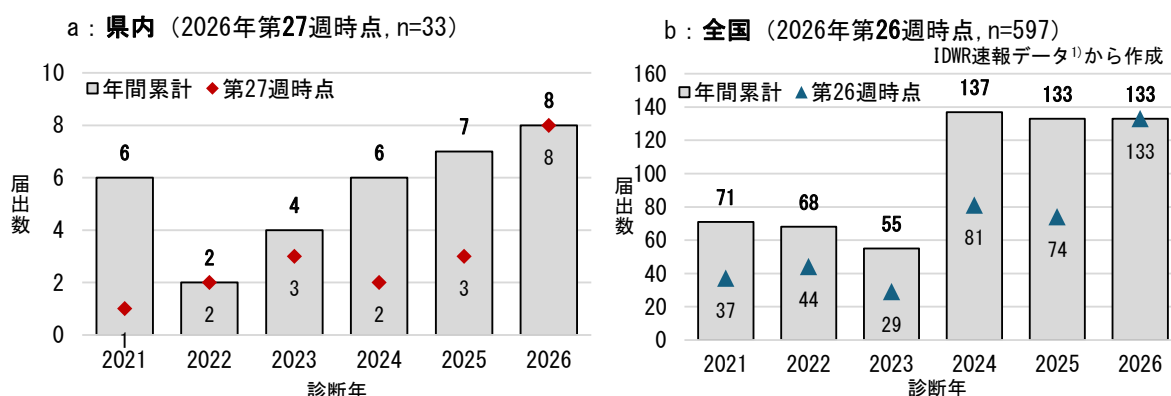
《A型肝炎》

2026年第27週に県内医療機関から2例届出があり、本年の累計は8例となった。すでに過去5年間で最多となっており、引き続き発生動向に注意が必要である（図a）。

性別は、男性6例（75%）、女性2例（25%）であった。年齢群別は、20代が3例（38%）で最も多く、次いで40代が2例（25%）、10代、30代、60歳以上が各1例（各13%）であった。推定感染地域は、国内5例（63%）、不明2例（25%）、国内又は国外1例（13%）であった。

全国では、第26週時点の累計は133例となり、過去5年間同週時点において、最多となった（図b）。

図：2021年から2026年までのA型肝炎届出数



2021年から2026年第27週までに届出のあった33例の概要は以下のとおり。

性別は、女性19例（58%）、男性14例（42%）であった。

年齢群別は、60歳以上が13例（39%）で最も多く、次いで10歳未満と20代が各5例（各15%）であった。

推定感染地域は、国内17例（52%）、不明8例（24%）、国外7例（21%）、国内又は国外1例（3%）であった。

A型肝炎は、A型肝炎ウイルス（HAV）の感染による急性感染症である。汚染された飲食物の摂取や感染者との直接的接触により経口的に伝播する。衛生状態や飲用水管理が不十分な地域で流行がみられる一方で、それ以外の地域においても、輸入食品に関連した集団発生の報告がある²⁾。また、性的接触により感染する可能性のある疾患でもあり、男性間性交渉者（MSM）における集団発生の報告もある^{3,4)}。

潜伏期間は、2週間から6週間（平均4週間）とされ、発症初期には発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心、筋肉痛などの症状が出現する。その後、黄疸、腹痛、吐き気、嘔吐、下痢が出現する。他の急性ウイルス性肝炎の患者と比較し、特に発熱が目立つ特徴がある。黄疸は、一部の例を除いて比較的早期に改善するが、倦怠感や食欲不振は数カ月持続することがある。多くは自然軽快するが、まれに劇症肝炎に進展する例も報告されている^{2,3)}。

感染対策としては、手洗いをはじめとする衛生管理の徹底、中心部までの十分な加熱調理（85℃、1分以上）、患者の排泄物の適切な処理、塩素剤による消毒などが重要である。また、ワクチンによって予防可能な感染症であり、流行地域への渡航者、医療従事者、慢性肝疾患患者、MSM等の高リスク者、重症化リスクの高い高齢者においては、ワクチン接種が望ましい^{2,3)}。

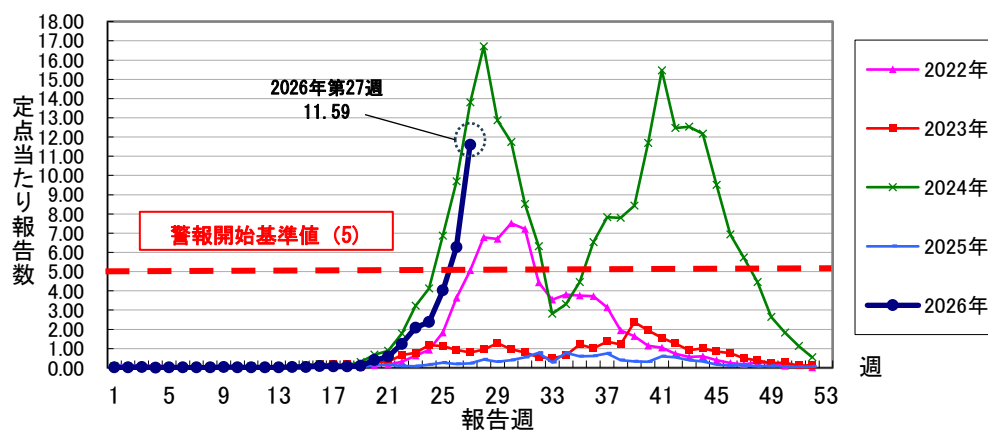
■参考・引用

- 1) 国立健康危機管理研究機構：IDWR 速報
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/provisional/sokuhou.html>
- 2) 国立健康危機管理研究機構：A型肝炎 2019年から2025年 IASR 2026年3月号
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol47/553/553t.html>
- 3) 国立健康危機管理研究機構：A型肝炎の臨床像 IASR 2026年3月号
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol47/553/553r01.html>
- 4) 国立健康危機管理研究機構：世界におけるMSM間でのA型肝炎のアウトブレイク IASR 2026年3月号
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol47/553/553r04.html>

《手足口病》

2026年第27週に県内の小児科定点医療機関から報告された手足口病の定点当たり報告数は、11.59（人）となった（図）。現在、県内で大きな流行が発生していることから、引き続き発生動向に注意が必要である。

図：2022年から2026年の県内の手足口病の定点当たり報告数（2026年第27週時点）



感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られている。治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあることから、日頃のしっかりとした手洗い等の感染対策が重要となる^{1,2)}。

■参考・引用

- 1) 国立健康危機管理研究機構：手足口病
<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/index.html>
- 2) 厚生労働省：手足口病
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>